

# 山二殿 (どのにいさん)

「どのやまだいにの山のぼりのにいさん」

令和8年7月3日

校長通信 (だより) 7



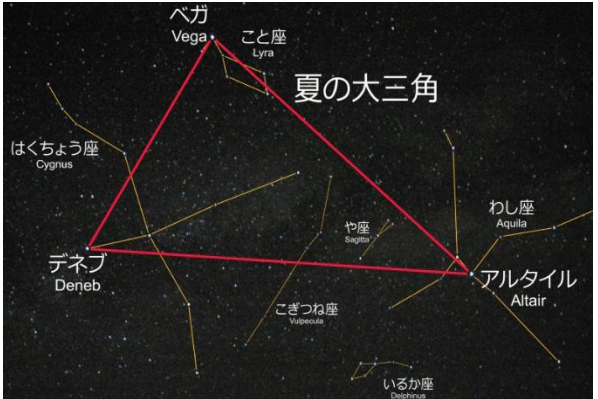
## 「7月になりました」

雨の多い6月でしたが、早いもので7月に入りました。楽しい夏休みまでは、あと2週間です。

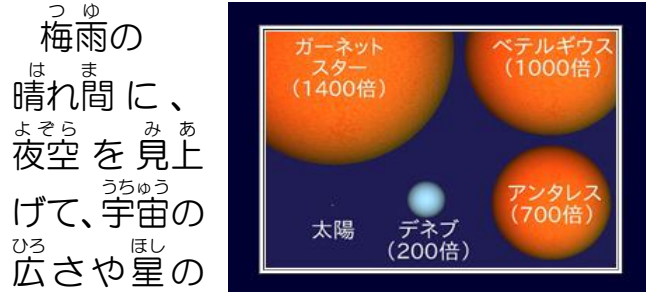
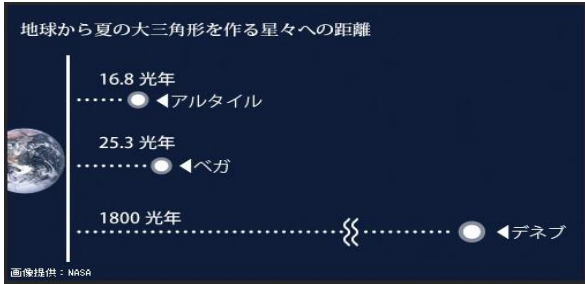
7月7日は、「七夕(たなばた)」です。夜になると、夏の大きな星がよく見えています。七夕伝説で有名な「織姫(こと座のベガ)」と「彦星(わし座のアルタイル)」。

その間に天の川(銀河系)が流れ、もう一つの1等星「デネブ」も光っています。

目で見ると二等辺三角形に見えますが、地球からの実際の距離は、3つの星とも違います。(下の図)



にみえます。さそり座には、赤く輝く1等星の「アンタレス」が光っています。アンタレスは、太陽の700倍(デネブは200倍…下の図)、地球から550光年という遠いところにあり、あまりにも大きく遠い星です。



1秒間で地球を7周半するくらいの速さの光が、1年かけて進む距離が「光年」です。デネブは、地球から1800光年ですから、1800年前の光を今、観ているのです。夏の南の空には、星が「S字カーブ」をえがいた「さそり座」がきれい

梅雨の晴れ間に、夜空を見上げて、宇宙の広さや星のロマンを感じる事ができたら素晴らしいですね。残りわずかの1学期。最後まで、しっかりと学習のまとめを頑張っで欲しいと期待しています。七夕に願いが届きますように。